

「第1回米子市総合計画審議会」における主な意見に対する対応等について

○人手不足・人材確保についてクローズアップするとともに、工夫して対策を考えて欲しい。

⇒・福祉人材の確保

- ・中小企業の人材育成確保（設備投資支援、学び直し、ふるさと教育）、
- ・自動運転など先進技術導入による路線バス運行の効率化 など

○定年延長等により60歳から70歳までの人材が欠けている。地域活動に対しても、離れる人が増えた。広報活動などに引き続きしっかりと力をいれることが重要である。

⇒・地域の担い手確保、地域に応じた新たな住民自治の創造 など

○災害が起きやすくなったいま、ハード・ソフト事業をともに進めることにより災害に強いまちづくりを求める。

⇒・雨水排水対策事業の促進

- ・公共下水道の早期整備が困難な区域での合併浄化槽の普及促進
- ・消防団活動の充実 など

○中心市街地以外のそれぞれの地域においても暮らしやすくなるような取組を考えて欲しい。

⇒・義務教育学校設立と連動したまちづくりの推進

- ・全線キャッシュレス化、コミュニティバス充実など路線バスの利用促進 など

○引き続き、観光振興に力を入れて欲しい。皆生の灯り事業は完成したが、これから海岸遊歩道の整備がはじまる。米子駅前や米子城跡と同様にウォーカブルを推進するまちづくりのエリアの一つとして考えて欲しい。

⇒・皆生温泉など観光客受入れ環境の更なる整備促進

- ・香港・上海・ソウル等東アジアのゲートウェイ機能を活かした誘客促進 など

○フレイル対策は若い人たちから取り組んでいかないといけない。特に40代の方たちが重要、必ず誰しもが通る道であり、若い人にも考えて欲しい。

⇒・全市的なフレイル度チェックの実施及び予防の実践の促進 など

○米子市版コミュニティスクールなど、子どもたちが積極的にチャレンジできる環境づくりが大切である。

⇒・コミュニティスクールを基盤とした、地域と一体となった特色ある学校づくり など